

2022年度総務省インターンシップ 実習課題一覧

別紙

	研究課題	実習内容	受入部署(予定)	受入可能時期	実習形式	実習に係る経費 (府省内での実習 交通費を除く)	受入人数
課題 1	国の行政管理・評価、統計にかかる政策に関する行政実務	<p>総務省では、行政の組織・業務のあり方を変革し、国家行政の基盤をかたちづくる仕事をしています。</p> <p>行政運営の透明性・信頼性・効率性の確保のため、政策評価・調査・監視、業務改革・働き方改革、行政通則法の運用、客観的な政策決定の基礎となる公的統計の整備・データ利活用など、幅広い分野を扱い、これからの行政のマネジメントを共に考えます。</p> <p>今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。</p>					
課題 2	地方自治行政に関する行政実務	<p>総務省では、国と地域の在り方を変革し、未来の日本をかたちづくる仕事をしています。</p> <p>人口減少・少子高齢化社会を見据えた統治機構改革や地域活性化策の立案、地方を支える自治体の財政的、税制的な面での制度の構築、近年頻発する各種災害に即応できる消防防災体制の強化などを通じて地方自治行政の根幹を支えています。</p> <p>今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。</p>	関係部局(調査票の内容(興味・関心)より調整)	2022年7月25日(月) ～ 9月16日(金)のうち 3日～1週間程度	実務部署での受入型	外部施設見学等を行う場合は適宜自己負担頂く可能性があります。	100名程度 ※昨年度受入実績:110名
課題 3	情報通信産業・技術にかかる政策に関する行政実務	<p>総務省では、日本の情報通信インフラを整備し、情報通信技術(ICT)を用いて新たな付加価値を生み出す仕事をしています。</p> <p>その仕事は、日本全国におけるインターネット環境整備や5Gの推進、ICT利活用(5Gを活用した社会課題の解決)政策、誰もがICTを活用できるための支援、ICTインフラの海外展開や経済安全保障などの国際戦略、サイバーセキュリティ対策、放送サービスの将来像の検討など、多岐にわたります。</p> <p>今回のインターンシップでは、実際に各担当部局の一員となって政策の最前線に参加していただきます。</p>					